

平成21年度・朝見まちづくり協議会

第4回定期総会を盛大に開催！

4年目のまちづくりに、住民あげて取り組もう！

夏まつり・芸能大会・防災訓練・防犯パトロール・水路美化清掃など地域挙げての事業など、21年度事業計画予算案を承認する。

山中 光茂 松阪市長を迎え、平成21年5月10日（日）19時30分より、朝見地区市民センターにて、第4回総会が開催された。

今回より、総会前に、まちづくり活動をスライド上映して紹介、第一部では田村 正会長の開会挨拶、来賓挨拶、記念表彰。第二部総会では、20年度事業報告、収支報告のあと、21年度事業計画・予算案が、提案され満場一致で承認された。本年も役員一同力を合わせて「安心安全のまちづくり」に全力で取り組む。

あさみ会報

朝見まちづくり協議会
あさみ会報編集部
発行責任者・鈴木三千夫
松阪市大宮町 209-4
朝見地区市民センター内
電話 0598-52.0007
2009.6.8 発行

第20号



平成21年5月10日19時30分 朝見地区市民センターにて開催。市長を迎えての開催は、設立以来3年ぶり、又新たな試みとして、総会前に「まちづくり」活動をスライドで制作上映した。総会は第一部 第一部
開会挨拶の田村 正会長は、今日までのまちづくりへの理解と協力を感謝を述べるとともに、「来りくる高齢化社会、新型インフルエンザの流行、圃場整備などを取り上げ」「自ら考え立ち向かうまちづくり、そして地域の声が反映するまちづくり、行政と協働しよりよいまちづくり、安心安全なまちづくりを、実行して子どもたちから、お年

寄りまで、生き生きと暮らせる、町づくりを丸と成り、つくりあげていかねばならない。今後ともまちづくりに全員の方々が参加をして頂きまして、朝見をより良い地域にして頂きたいと思っております。」と尚一層、まちづくりへの協力と推進を訴えた。（抜粋）



朝見をモデルとしてまちづくりを考えたい来賓挨拶に立られた、山中光茂 松阪市長挨拶（抜粋）は、「朝見地区の事は、朝見地区の方々が何より分かっている。その中で、単純に、老人会こういう風に使えよ、



自治会にこつこつ風に使えよ、朝見地区が防犯、防災に、青少年育成に対して、地域の愛情に基づいた、まちづくりをやっている。このようなことが、本日に町全体でしっかりと、市はサポートするだけで、地域の皆様方が、自治会、老人会、子ども会、地域の独自性で、地域の独自性に、基づいた「まちづくり」をやっていく、このモデルケースが、松阪市全体に広がっていくこと、本日にこのようであり方を、松阪市としても、今後、考えて行かなくてはならないのかなと思っております」（総会の挨拶の一部引用）引き続き、田中 祐治 市会議員は「松阪市、地域を超えて、三重県の中においても、朝見住民協議会は、トップクラスを走っておりまして、全国から協議会の視察に訪れております。昨年度12月に置き

平成21年度朝見地区自治連合会の皆様

連合自治会長 中西徳生・副会長 奥村和己・会計 小林淳男氏就任！
朝田町三田和弘・立田町岡林佳孝・和屋町松名瀬輝雄・上七見町奥村和己
下七見町増田直樹・新屋敷町野中恵市・古井町小林尚弘・西野々町牧戸理
佐久米町小林淳男・大宮町中西徳生氏が就任されました。



ましては、みえ防災大賞の、防災奨励賞も拝命する事が出来ました！など「まちづくり」の活躍と課題への協力を述べ、住民の活躍と役員の方の賜と賞した。（抜粋）



第一歩
定期総会の役員が人選され、議長に北出 豊（新屋敷町）書記・中谷 正美（和屋町）議事録署名人・奥村 和己（上七見町）、稲生 敏久（朝田町）が就任して総会が行われた。
20年度事業報告（北川敏雄・副会長）、収支決算報告（牧戸博昭・会計）、会計監査報告（野林梅之・監査役）が行われ承認される。
21年度事業計画予算案
全会一致で承認される
役員人事紹介（鈴木弘・書記）が施行し、21年度事業計画（田上勉史・葛谷光繁・鈴木三千夫・殿内裕哉・神崎勉・各部長）が提案、予算案提案（牧戸博昭・会計）を提案説明を行い、満場一致で承認されました。閉会の辞 橋本一男 副会長が述べ、第4回定期総会が無事終了しました。これにより4年目を迎える「まちづくり」は元氣一杯活動に入ります。

災害時救出協力企業紹介

（大宮町）茂谷工務店・珍田木材有限公司・大徳建設株式会社・上川運送株式会社（下七見）東部建設株式会社（朝田）株式会社北川鉄工建設・葵クレーン（佐久米）小林ファームライスセンター（立田）宝山石油株式会社・株式会社伊勢クレーン・荒木田製材所・中尾木材有限公司・株式会社ミック・殿治香建設有限公司（古井）有限公司松井工務店・柳産業有限公司・エムエフマツモト有限公司・岡田園芸・株式会社サンカ機工（新屋敷）宮前クレーン（上七見）鈴木高郎農産・海橋本電機・奥村農産（和屋）ススキ産機有限公司・溝口土建・井上組・有限公司安達建設

第4回朝見地区ふれあい防災訓練 平成21年1月18日実施

寒中避難・防災訓練に350名参加!

松阪市消防本部・市社会福祉協議会が協力する。 新たに各町別に、安否確認で全住民を確認する!

自分を守る!

隣近所を守る!

防災に取り組みながら、安心安全の地域づくりができるか!地域社会に育まれて住民が愛する郷土を造っていく活動。日常を守る朝見消防団からの提案!これこそ一番大事なこと立ち上げた自治会!郷土の安心安全なまちづくりがここから始まった!防災訓練!朝見に住みたい!朝見に居れば安心!と言われるまちづくり!防災訓練はその大きな役目を担って今回で4回目を迎える。

第4回防災訓練のポイント。

① 全員参加の防災訓練。いつ!起こっても不思議でない南海・東南海地震!

自助・自らを守る意識が一番遅れている現代自分だけは大丈夫という過信が更に被害を拡大。
地震災害に対する無認識が現実起こると混乱をまねく。

② 共助の精神をつくる防災訓練。

世の中は一人では生きられない、現実共に支えあえる社会。エゴがびこらない地域社会づくり。救助の成否は地域の共助力なくしてあり得ない。

③ 自主マニュアルによる防災訓練。

朝見地区に即した救助活動のあり方で即戦力を養う。災害を最小限に抑え、救助の効果を最大限にあげる。

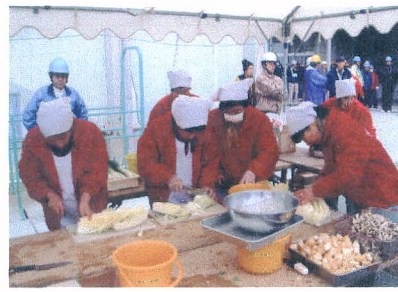
今回も各町に参加者の結果とおにぎりの炊き出しをお願いした。町の意識により大きな違いが出ています。参加者もユニオ数名から60数名と防災に対する意識の違いが現れる。防災訓練の可否は実際に災害に遭遇すると歴然と被害の大きさが違う。震災予報が叫ばれる今日、防災訓練をしないといふ人災になってしまおう!



共助精神を高める!

人は、いつ、どこで震災や災害に遭うかわからない。地震が起こっても助かる人、亡くなる人、ケガをする人がある。

震災は一度起れば、様々な被害が連鎖的に発生する。火事



が起こったり、疫病が流行したり、家屋や家具の下敷きになったり、逃げる為に道路に飛び出し交通事故で亡くなる人もあった。非常時に遭遇すると人は平常心が失われ、常軌を逸する精神状態になる。阪神淡路大震災は、沢山のことを教えている。日本列島は全域が活断層の上にあるとも言える。

それは、どこでも大激震が起こる。防災訓練は自分を守る訓練である。先ず、自分を守れないと、家族を守る、近隣を守る!ことはできない。公助、消防、警察、病院、行政などは日常から訓練をしている。その公助の機関すら、同じように震災の被害を受ける。過去の震災の教訓は、近隣、共助ともに助け合う力が生死を分ける。救助される人から救助する人に!それが防災訓練の精神である!



大震災は想像を絶する 広範にライフラインは マヒ状態となる。

大災害に見舞われると全てのライフラインの機能がマヒする。大震災の世界を想像して見たことはあるでしょうか!?真つ暗やみ、音のない世界!死の世界!その瞬間から生き残った者が助け合わなければならぬ世界だ。災害に見舞われると大切なことが、トイレ、寝る場所、飲料水・食料。第1回の防災訓練から炊き出しを取り入れていく。住民が身近に出来る助け合いの行爲だ。炊き出しの第一は「おにぎ

り」だが大量の炊飯が難しい。家庭の量に馴れた炊飯器では2.5升の炊飯は出来ない。炊飯器は揃えてあっても慣れないと測ったような水加減では失敗する。日頃からの経験がものをいう。震災時にスーパーも被害に遭っている。自給自足の生活を強いられる。町毎に「おにぎり」の炊き出し班を編成して作って頂いた。屋敷に、手作りの美味しい「おにぎり」が届いた。豚汁も同じだ。具材が量、味付けと日頃の訓練が決め手となる。何百人分の豚汁作りには、どれ程の量が必要か!日頃の訓練は非常時に発揮する、400人分の豚汁を目安に作った。真つ暗やみの冷たい被災地では、温かい炊き出しの食糧やその匂いが被災者には安堵を漂わす。今回の冬季訓練も、豚汁の温かさ、美味しさが訓練に参加した人々を温めた。給水給食班の若手メンバーと炊き出し経験の豊富な寿会の協力で豚汁を炊き出した。この協働の炊き出し訓練が非常時の時に生きる。

参加を目指す! 安否確認が決め手

今回、始めて安否確認の訓練体制を行った。災害時、100%安否確認が取れないと大変なことである。一人暮らし、介護者、高齢者世帯など、地域には各世帯が存在する。如何に安否確認が出来、救援体制を固めるか!情報収集能力と救援能力が安心安全の地域づくりの基本である。参加しない世帯を役員が全部安否確認に回るのが本来のあり方。しかし、今回は安否確認を不参加本人に

お願いした。安否確認カードを作成し、事前に全戸配布した。訓練当日、参加できない世帯の方が「氏名」と「家族人数」を記入するものだ。安否確認カードには、防災訓練の意義、心得を印刷した。各世帯の都合に配慮しながら、防災意識と安否確認の重要性をアピール出来たと思う。



東京都豊島区から視察 ヘルネットを参考に!

豊島区では、3年前に自治基本条例が制定されている。地域マネジメント、住民協議会の活動に関心あつての訪問とのこと。大都会からの視察訪問に、朝見のまちづくりが参考になるのか?との思いもあつたが、誠心誠意報告。2月6日14時から、朝見市民センター会議室にて交流会を開催した。スライドは、設立に際しての、各役員の皆さんの活気が伝わる。また、設立に際して規約、部会の活動、昼夜分かつた頑張りった模様など、まちづくりの目標、部会別の活動の説明、まちづくりの理想、活動する役員の姿など。大都会の街と朝見の町とは、環境に大きな違いがあるが朝見のまちづくりにかける情熱は伝えた。

たこ焼きパーティー 3世代料理教室!

3月15日(日)10:00朝見市民センターにて開催、40数名が集う。子どもたちと一緒に料理教室が企画された事業。小さな子から中学生まで、子どもたち30名と大人10名が集った。子どもたちの大好きで、自分で出来る料理は?と、高価な「タコ」は、まとめ買いが出来ず、5〜6軒スーパーをはしこ。始めに、レシピを見ながら説明。大人で食材を刻み準備。後は、子どもたちが、たこ焼き!焼き!焼き!焼き!手首を火傷しないか心配だったが、大丈夫だった。10時から12時まで、焼いた!焼いた!食った!食った!食った!屋敷代わりにと、お腹いっぱい食べました。親子で手伝いながら、友達同士で思い思いに!出勤している先生にと特製のたこ焼きを作る子ら。お母さんの手際の良さを感じする子。食べる順番を待つ子。要領よく手伝い、たれやかつ節をかける子。兄弟で、手分けする子どもたちなど、最後まで、ワイワイガヤガヤ。

